

## 当院で発生した事故に関するお詫び

平成 31 年 3 月 19 日に、胎児死亡の流産処置のため当院に入院中の患者様がトイレで胎児を死産され、清掃員がトイレ内の胎児を流してしまう事故が発生いたしました。

患者様およびご家族には、多大なるご心痛とご負担をお掛けし、大変申し訳なく心よりお詫び申し上げます。また、当院の患者の皆様ならびに関係の皆様にもご心配をおかけし、重ねてお詫び申し上げます。

当院では、このたびの件はあってはならない重大な事故と認識しており、現在、医療事故調査委員会を立ち上げ、事故発生を招いた要因の検証を進め、当院における流産処置の際のマニュアル見直しを行うなど、再発防止の徹底に努めているところです。

令和元年 5 月 18 日  
さいたま赤十字病院  
院長 安藤 昭彦